

貫元介譯

基督教確證一

同望社

基督教確証目錄

黃氏金鑑

基督教確証目錄

緒言 奇跡ノ無論信據ス可キ

第一編 基督教直接歴証ノ一併ニ其自然他ノ奇跡ノ爲ニ引援シタル証據ト區別アル

命題一 基督教ノ奇跡ヲ元來目撃シタル者ノ多ク其説ク所テ証センカ爲メ又偏ヘルト又其斯ル念慮ヨリシテ平生ノ行爲ヲ改メタルノ証據十分ナル

第一章 最初ノ基督教傳播者ノ苦楚ヲ蒙リタルノ確証自然ノ情勢ヨリシテ顯ハル

第二章 最初ノ基督教傳播者ノ苦楚ヲ蒙リタルノ確証藝瀆ノ証言ヨリ顯ハル

第三章 最初ノ基督教傳播者ノ苦楚ヲ蒙リタルノ間接確証、聖書及ヒ其他基督教ノ文書ヨリ顯ハル

第四章 最初ノ基督教傳播者ノ苦楚ヲ蒙リタルノ直接確証、聖書及ヒ其他基督教ノ文書ヨリ顯ハル

第五章 前項ノ確証  
觀察ノ

第六章 最初ノ基督教傳播者ノ苦楚ヲ蒙レル原因ヲ  
ル其説ク所ノ事跡ハ即チ奇跡ニテアリシ

第七章 間接ノ考察ヲ以テ今日己ニ証明セル  
事跡ハ畢竟此事跡ニ外ナラサル

第八章 聖史ノ實據スヘキヲ以テ同  
事跡ノ自然証明セラル

第九章 聖史ノ確  
實ナル

第一節 古ヘノ基督教門ノ學者等  
ノ聖史ヲ引用シタル

第二節 特異ノ尊重ヲ以テ其  
之ヲ引用シタル

第三節 聖書ハ早ク昔時ニ於テ集メ  
テ以テ一卷トセラレタル

第四節 其各適當ノ名稱及ヒ尊重ノ書  
名ヲ以テ區別セラレタル

第五節 古ヘノ基督信徒等其宗教上ノ集會ニ  
於テ公然之ヲ讀ミ又之ヲ講シタル

第六節 聖書ノ註解及ヒ其他ノ  
昔時ニ著ハサレタル

第七節 古ヘノ基督教各派ノ信徒ニ  
由テ其ノ遵奉セラレタル

第八節 現今遵奉聖書中ノ四福音、使徒行傳、保羅書信十三、約翰第一書  
信、彼得第一書信ハ其他ニ疑チ懷ク者ノ眞實ニ遵奉シタル

第九節 現今ノ福音書ハ基督教ノ敵對者カ此宗教創立  
ノ基礎タル事實ヲ包括スル者ト考察シタル

第十節 聖書ノ正確書目ヲ頒行シテ其中  
ニ現今ノ福音書ヲ加ヘタル

第十一節 以上ノ諸題ハ通例一般ニ新約ノ偽聖書ト  
名ケラル、者ヨリ證セラレ能ハサル

第十章 再  
說

命題二

第一章 基督教ノ奇跡ニ類似スル奇跡ヲ目撃シタリト僞ル者ノ其説ヲ所テ証セ  
ンカ爲メ又偏ヘニ之ヲ眞ナリト信スルカ爲メニ生涯甘ンシテ艱難辛苦  
ヲ嘗メ且危険ヲ冒シタル  
一ノ証據十分ナラサルヲ

第二章 或一種ノ例  
考察ノ一

第二編 基督教補助  
証據ノ一

第一章 預言  
ノ一

第二章 福音ノ道  
徳タルヲ

第三章 新約全書ノ記者  
皆十誠實ナルヲ

第四章 基督ノ品行同  
一不變ノヲ

第五章 基督ノ品行  
原摸ノヲ

第六章 折々聖書ニ記載又ハ其中ニ論及セラレタル事實ノ之ニ關係セサ  
ル別段ノ事跡ニ由テ書キ顯ハサレタル事物ノ情勢ト符合ノヲ

第七章 暗ニ符  
合ノヲ

第八章 基督ノ復活  
事歴ノヲ

第九章

第一節 基督教傳  
播ノヲ

第二節 前ノ事項  
熟考ノヲ

第三節 回々教利  
達ノヲ

第三編 世間流行ノ異論ヲ  
簡略ニ考察ノヲ

第一章 福音書ノ互ニ  
差違アルヲ

第二章 諸使徒ニ付シタル謬説ノ一

第三章 猶太歴史ト基督教ノ連絡ノ一

第四章 基督教ノ拒絶擲棄ノ一

第五章 基督教ノ奇跡ハ基督教門ノ最初ノ記者輩ニ由テ意ヒノ外十分ニ又數々反覆セラレテ訴ヘラレサルヲ

第六章 基督教ノ了解遵奉ノ一般ニ乏キヲ并ニ其明瞭ナル証據不足ノ一

第七章 基督教ノ推測成跡ノ一

第八章 結論

基督教確証

英國 維廉・沛勒 著

英國 噫・葉・李・沌 註

英國 加・煥・比・耳・矩・素 註

英國 耶・孚・葉・麻・列・樽 註

日本 貫・元・介 譯

緒言 奇跡ノ無論信據ス可キヲ

〔一〕上帝啓示ノ道ノ人類ニ欠ク可ラサル者タルヲ証明スルノ事業ハ吾レ之ヲ必用ナラスト思惟ス何トナレハ假令基督教

ノ下ニ棲息スル人ト云ヘトモ世ノ光明余リ有リトスル者アルヲ見ス況ヤ秋毫モ余明ノ証跡アルヲ見サレハナリ其上又基督教ノ眞偽如何ヲ斷定スルニハ唯其問題ハ此宗教ト無宗教ノ間ニ在リテ其他ニ在ラサルハ己ニ讀者ノ覺悟アラント吾カ希望スル所ナリ其故何トナレハ基督教ニシテ若シ信ス可ラサル宗教ト一定セハ其然ル所以ヲ明知シテ之ヲ信セサル輩ニハ他宗教ノ説ク所ヲ眞理トシテ之ヲ保維セントスル者アラサレハ也。

〔二〕抑我等人類ノ棲息スル此世界ハ之カ造成者アリテ始メテ

其出現セシモノタルヲ假想セヨ又其之ヲ造成スルニ際シテ早ク有感生類ノ幸福ヲ企圖セラレタルコトノ實証ハ宇宙間ニ顯然タル上帝ノ計畫準備ノ蔽フ可ラサル著キ傾向ニ由テ明カナリト假想セヨ又之ヲ企圖セシ所ノ上帝ノ意志ハ恒ニ易ラサル者ト假想セヨ又有感生類ノ一部分ハ造物者ヨリ能力ヲ稟有シ之ヲ以テ其意志ヲ遵奉スルコトヲ得又之ヲ以テ其之カ爲ニ定メラレタル事業ヲ凡テ自由隨意ニ行フコトヲ得ルト假想セヨ又造物者ハ此等靈心責任ヲ兼有スル者即チ人類ノ爲ニ第二ノ世ヲ供ヘテ其世ニ於テ人類ノ地位ヲ定ムルニ第

一ノ世ニ於ケル其行爲ノ如何ニ從テ之ヲ定ムル者ト假想セ  
 ヲ并ニ善惡ノ區別ヲ顧ミスシテ上帝ノ政法ニ抗スルヲモ此  
 天地間ニ顯然タル上帝ノ擁護恩惠ト此善惡紊亂ノ兩立セサ  
 ルヲモ共ニ皆ナ除去消滅セララル、ハ右ノ假想ニ由ラスンハ  
 他ニ假想スル所ナシト又假想セヨ又人類ノ爲ニ企圖セラレ  
 タル事項ヲ其自カラ知ル可キヲハ極メテ緊要ナル者ト假想  
 セヨ詳カニ之ヲ説カハ其之ヲ識ルハ大イニ其幸福ヲ發達ス  
 ルノ基ニシテ即チ其上進利達ノ爲ニセラレタル自然ノ妙算  
 ナリト假想セヨ然レモ殆ト全人類皆チ其能力ノ不十分其不

幸ノ地位其先天啓示ノ遺失ニ由テ之カ知識ヲ缺ク者ニシテ  
 新タニ復タ啓示ノ助ケナクンハ此知識ニ達スルヲハ兎テモ  
 覺束ナシト假想セヨ去ラハ斯ル事情ノ下ニハ天道ノ啓示セ  
 ラル可キヲハ不蓋然タル乎斯ル事ニ上帝ノ關涉ス可キヲハ  
 信ス可ラサル乎上帝カ人類ノ爲ニ未來ノ世ヲ供フルト假想  
 シ去ルモ尙ホ上帝ノ之ヲ人類ニ知ラシムルヲハ果シテ不蓋  
 然タル乎。

〔三〕偕上帝ノ啓示ハ奇跡ニ由スシテ如何ナル法ヲ以テセラレ  
 能フ乎

李沌曰此言ハ少シク合宜之説明ヲ要スル者ノ如ク思ハル、ナリ抑上帝ノ啓示ハ、  
 唯奇跡ニ由テナサレ得ル耶人ハ其斷定者ニ非ス奇跡ハ啓示ノ自然適當ノ附屬物

タルトハ人之ヲ知ルヲ得ケレト此區域ヲ越ヘテ之カ知識ヲ進ムルヲ得サルナリ又啓示ハ最初ノ遵奉者ニ之ヲ傳フルト人類一般遵奉ノ爲ニ之ヲ宣布スルトハ其間ニ自カラ區別ナカラサル可ラス奇跡ヲ行フノ能力ハ甲ノ場合ニ於ケルヨリモ乙ノ場合ニ於テ尙ホ要用ナル者ナル可シ使徒預言者等ハ其心ニ感セラレハ、トナ自覺スル爲ニハ此能力ヲ以テ必需ノ者トハナサ、リキ通例啓示ノ彼等ニ顯然タリシハ異夢若クハ異象若クハ直接訓誨ノ如キ自証ノ法ニ由レリ拿撒勒人耶穌ノ心ニ自カラ基督タル自覺ノ全ク胎胎シタルハ其行ヘル奇跡ヨリスルニ非スシテ既ニ其以前ニ在リ故ニ其奇跡ハ此自覺ノ花ト謂フ可キナリ然レト此啓示ヲ他人遵奉ノ爲ニ宣布スルニ當テ始メテ外見ノ証據必用トナリテ奇跡ハ即チ之ニ適用スル者タル更ニ疑ハサル所ナリ何トナレハ使徒預言者等ハ自カラ其心ニ信スル所ヲ他人ノ心ニ移スヲ得ス故ニ顯然タル証據ヲ示サ、ルテ得サレハナリ汝如何ナル休徵ヲ示ス乎汝何ヲ行フ乎トハ是レ免ル可ラサルノ問題ナリ斯ル需求ハ必ス満足セシメサルヲ得アリキフナコトサル者トス此理ヲ以テ啓示ノ道ハ奇跡ノ証據ヲ要スト云ヘル沛勒ノ言異也 必スヤ人ノ想像ニ得ル所ノ法ハ其法ニ非サルナリ是レヲ以テ推スト

キハ啓示ノ全人類ニ傳ヘラル可キヲ幾分カ蓋然タル者トシ若クハ蓋然タルニ近シトセハ奇跡ノ行ハル可キヲモ均シアリキフナコト

キ分度ヲ以テ蓋然タル者トシ若クハ蓋然タルニ近シトス可キ道理ナリ故ニ奇跡ノ行ハレタルハ顯然必需(若レ然ラハ)無量價ノ啓示ヲ傳播スル爲メナリト云フニ當テ其不可思議性ノ事實タルヲ以テ起ル所ノ不蓋然ハ斯ル啓示ノ上帝ヨリ賜ハル可キヲニ付テ先ツ起ル所ノ不蓋然ト其大小輕重更ニ異ナル所ナシ。ナキ、フナコト

〔四〕然レト吾レ此辯論ノ法ト其區域ノ詳細ニ理解セラレシヲ望ム我等奇跡ノ實ヲ証セン爲ニ上帝ノ徳性ト來世ノ存在ヲ論據トセスシテ其實ヲ証スルニハ常ニ証據ニ由ラサル可



ラス啓示ヲ保維スル爲ニ行ハレタリト已ニ辯シタル夫ノ奇  
 跡ニ付テ我等唯確言シテ其奇跡ハ如何ナル証據モ及ハサル  
 程ニ邈乎タル不蓋然ニ非スト云ハシノミ此確言ヲ維持セン  
 カ爲ニ我等ノ争フ所ハ人類ニ來世ノ賞罰ヲ告知シ又其來世  
 ノ準備ヲ爲ス可キヲ教ル所ノ上帝ノ音信ヲ証明セン爲ニ  
 行ハレタル者ト云ヘル此奇跡ノ不可信性ハ此音信ノ不可信  
 性ニ少シモ異ナル所ナレ是レ其音信ヲ蓋然ト云フニモセヨ  
 不蓋然ト云フニモセヨ左ノ二命題ハ正理ヲ誤ラサレハナリ  
 ト云フニ在リ即チ其命題ハ(一)來世ハ人類ノ爲ニ上帝ニ由テ

定メラル可キトト(二)斯ク定メラル、上ハ又上帝カ之ヲ人類  
 ニ知ラシム可キト是レナリ此命題ハ素ヨリ証明セラル可キ  
 者ニテ又自然ノ理ニ由テ立ツル辯論ヲ以テモ蓋然タルヲ得  
 セシメラル可キ者ナレ且今之ヲ爲スハ我等ノ企圖スル所ニ  
 必用ナラサレハ今我等ノ十分ナリトスル所ハ此命題モ又此  
 命題ト密着セル事實(故ニ奇跡ノ不蓋然ハ此命題ノ不蓋然ニ  
 異ナル所ナシ)ハ共ニ容易ニ擲棄セラレサルヲ得ス其証明セ  
 ラル、証憑ハ如何ニ堅固ナルモ如何ニ重大ナルモ同ク擲棄  
 セラレサルヲ得サル程ニ劇シキ不蓋然ニモ非ス又已ニ我等

カ上帝ノ能力徳性ヲ信スルコトニ對シテ矛盾スル者ニモ非ス  
ト云フニ在リ。

右ハ我等カ將ニ是レヨリ異論ニ抗抵セントスル預先ノ斷定  
ナリ何トナレハ現時奇跡ニ對シテ異論ノ及ホス所ハ人ノ立  
ツル証憑ハ如何ナル者ニテモ奇跡ヲ信セシムルコト能ハスト  
スルニ在レハナリ若シ上帝ノ啓示アラハ奇跡ナカラサル可  
ラス人生ノ状態ニ照シテ啓示ハ不蓋然タルニ非ス若クハ蓋  
然タルニ近シト已ニ上ニ記載シタルコトハ全ク此異論ニ對シ  
テ吾レ之ヲ公平ナル答辯ナリト考フルナリ。

〔五〕然リト雖モ茲ニ一異論ノ我等カ辯論ノ門域ニ立テルアリ  
テ若シ之ヲ傍觀シ去ラハ凡テ立ツル所ノ証憑ニ對シ凡テ今  
ヨリ辯セントスル理論ニ對シテ其ノ之カ門門トナルカ故ニ  
暫ク論歩ヲ此ニ止メテ此異論ノ公然原據スル所ノ主義ヲ考  
試スルヲ以テ欠ク可ラサル者トス此主義ヲ簡略スレハ「奇跡  
ヲ真ナリトスルハ經驗ニ反對ス去レモ之カ爲ニ立ツル証言  
ヲ詐僞トスルハ經驗ニ反對セス」ト云フニ在リ。

偕此經驗ノ文字ト「經驗ニ反對ス」若クハ「經驗ニ逆フ」ト云ヘル  
語句ニ於テ其意義ニ少シク曖昧タル所アル者ノ如クナレハ

先ツ之ヲ除去スルヲ以テ必用ノ事ナリトス元來事實ノ說話  
 ナリテ經驗ニ反對スト云ヘルコトハ抑如何ナル場合ニ在ル耶  
 譬へハ或事ノ或時ヲ以テ或場所ニ成リシコトヲ語ルアリテ我  
 等同一ノ時ヲ以テ同一ノ場所ニ臨ミ乍ラ其成リシコトヲ見サ  
 リシニ尙ホ之レアリシト云フ此場合ニ於テ而已事實ノ說話  
 ナリテ經驗ニ反對スト云フ可キ者ナリ是レ恰モ一日或時間  
 ニ或室内ニテ一人死亡シテ復活セシ者アリシト云ハンニ我  
 等同一ノ時間ニ於テ同一ノ室内ニ在リテ窺ヒシカスル事ノ  
 成リシヲ見ザリシニ尙ホ之レアリシト確言スルニ異ナラサ

ルナリ茲ニ此確言ヲ名ケテ經驗ニ反對スル者ト云フテ穩當  
 ナリ而シテ又証憑ヲ以テ如何トモス可ラサル者ナリ事ノ不  
 可思議性ニ係ルカ否ヲサルカハ亦問フニ及ハサルナリ併シ  
 此經驗ト此反對ハ大監督地羅<sup>ト</sup>博<sup>ク</sup>カ休<sup>ヒ</sup>模<sup>ム</sup>氏ノ論據ヲ引用シテ  
 証明シタル者ナリト雖モ氏ガ異論ヲ發スル爲ニ中心自カラ  
 定メシ所ノ者ハ必ス斯ル經驗ニモアラヌ斯ル反對ニモアラ  
 サルナリ而シテ之ヲ措テ經驗ニ反對スト云ヘル語ニ付セラ  
 ル可キ明白ナル意義ハ我等今聞キシ此事ニ類似セル事ヲ未  
 タ自カラ經驗セシコトナク又斯ル事ハ通例他人モ未タ經驗セ

スト云ヘル意義ノ外ニ吾レ亦之レアルヲ知ラサルナリ吾レ  
 故意ニ通例云々ト云フ所以ノ者ハ此問題ノ事實ニ付テ斯ル  
 事ハ絶テ經驗セラレシヲナク又ハ一般ノ經驗ニ逆フト云フ  
 ハ此論場ノ主地ヲ擅ニスル者タルヲ免カレサルヲ以テ也  
 [六]抑經驗ノ缺乏(蓋シ反對ト言ハスシテ缺乏ト言フユソ穩當  
 ナレハナリ)ヨリシテ奇跡ヲ不蓋然トスルハ若シ其事ニシテ  
 實ナラハ我等必ス之ト均シキ事ヲ經驗シ又必ス通例ニ經驗  
 セラル可ト云フノ意ニ外ナラサルナリ若シ夫レ基督教傳  
 播ノ初メニ於テハ奇跡ヲ措テ他ニ之カ教權ヲ確固タラシム

ル者ナキヲ以テ爲ニ奇跡ノ行ハレタルヲハ事實ナリト假想  
 セハ斯ル奇跡ハ竟ニ通例ニ經驗スル所ノ者トナル迄ニ數々  
 處々ニ反覆セラル可キヲハ果シテ疑シカラサル乎此レヲ蓋  
 然タリトスルハ抑確カナル乎此レヲ蓋然タリトスルハ確乎  
 トシテ動ス可ラサル乎此蓋然性ハ証憑モ更ニ抗抵シ能ハサ  
 ル者ナル乎果シテ然リトスルモ到底此蓋然性ハ夫ノ經驗ノ  
 缺乏ヨリ起リテ休模氏カ人ノ立ツル証憑ヲ以テハ如何トモ  
 ス可ラストスル所ノ不蓋然性ヲ全ク顛倒シタルニ過キスシ  
 テ其區域ノ廣狹ニ於テモ亦全ク同一ナリ。

右ハ天然ノ法則ヲ新タニ証明シ物理ノ試験ヲ新タニ爲スカ  
 如キ方法ニ據ル可キ者ニ非ス何トナレハ此方法ニ據レハ斯  
 ル事跡ヲ聞クニ當テ同一ノ状態ニ由テ同一ノ結果必ス一般  
 ニ起ル可キヲ希望セサル可ラス此希望ノ適當ニ維持セラ  
 ル、ニ應シテ自然經驗ノ缺乏ヲ顯ハレ爲ニ此事跡ヲ拒否ス  
 ルニ至レハナリ去レモ奇跡ニ係テ其陸續絶ヘス反覆セラ  
 ル可キヲ希望スルハ取モ直サス全ク奇跡ヲシテ其性質ニ反  
 對スル所ノ一般普通ノ者タラシメテ其功用計畫ヲモ併セテ  
 破擢センヲ希望スルニ異ナラサルナリ。

〔七〕奇跡ニ對シテ一ノ異論トナレル夫ノ經驗力ノ基ク所ハ天  
 然ノ常道秩序ハ不易ナリ若シ其變換スルヲアラハ其變換必  
 ス數々成リテ遂ニ普通一般ノ常道タル可シト云フ預察ニ外  
 ナラサルナリ抑此常道秩序ノ必ス右兩様ノ一ヲ出テサルヲ  
 ハ確然証明セラレタル耶請フ我等ヲシテ此常道秩序ヲ一睿  
 智者ノ作爲ト言ハシメヨ去ラハ此訴ヘテ斷定シテ蓋然タラ  
 シメンカ爲ニ如何ナル至當ノ理由アル乎此睿智者ハ特別重  
 要ノ場合ヲ以テ其己ニ命シタル常道秩序ヲ阻礙シ得ルヲト  
 尙ホ斯ル場合ノ多分再ビ至ラサル可キヲハ寧ロ我等ノ望ム

可ラサル者タル乎之ヲ以テ推サハ斯ル阻礙ノ小數經驗ニ限  
ラル可キヲハ抑亦タ望ム可ラサル乎故ニ多數ノ經驗ヲ欠ク  
ハ驚愕ス可キ道理モナク異論ヲ發ス可キ理由モナシトハ云  
フ可ラサル乎。

〔八〕然レモ是ヨリ進ンテ靈爲ノ事跡ヲ語ルニ當テ汝等ハ原因  
ノナキ結果ヲ作り汝等ハ結果ヲ以テ企圖セル事業ニ不適當  
ナル原因ニ歸シ若クハ人ノ未タ經驗セサル手術ヲ其原由ト  
スル者ナリト云ヘル非難ハ夫ノ經驗ノ專ヨリスル辯論ニ連  
續シテ必ス起ル可キノ異論ナリ如何ナル原因ニ付キ如何ナ

ル結果ニ付テ此異論ヲ發スルヤト問ハンニ之ニ應シテ若シ  
汝等中風ノ本復テ以テ手ノ一回ヒ觸レタルニ歸シ盲目ノ全  
愈ヲ以テ目ニ粘土ヲ塗リタルニ歸シ死人ノ復活ヲ以テ一言  
辭ニ歸セハ汝等自カラ此非難ニ投スル者ト云ハン乎我等ハ  
斯ル結果ヲ以テ斯ル原因ニ歸セスト云ハン耳我等斯ノ如キ  
所爲ニ於テ功德若クハ勢力アルヲ見サルハ猶ホ他ノ同一ノ  
所爲ニ於テ其コレアルヲ見サルカ如シ此所爲ハ啻ニ奇跡ノ  
目途ヲ顯示スルノ徵候ナリ我等此結果ヲ以テ單ヘニ上帝ノ  
意力ニ歸スルナリ抑上帝ノ存在ト能力ニ係テ其表現ト其動

作ハ言ハスシテ業已ニ明カナルハ猶ホ人体ノ組織中ニ適當ナル勢力アリテ又適當ナル動作カアルカ如シ之ヲ一言シ去ラハ一回ビ上帝アルヲ信セハ奇跡ハ敢テ信ス可ラサル者ニ非サルナリ。

〔九〕休ヒキム横氏ハ奇跡ノ事件ヲ以テ不蓋然性ノ相對立シテ其優劣ヲ争フ者ナリト云フ之ヲ詳説スレハ最モ不蓋然タルハ孰レニ在ル耶奇跡ヲ真ナリトスルニ在ル耶抑又其証憑ヲ詐偽トスルニ在ル耶ノ問題ナリト云フニ在リ吾レ之ヲ以テ公平ナル論據ナリト考フレモ亦其中ニ論衡ノ平ヲ失スル者アルヲ

知ル何トナレハ氏カ奇跡ノ不蓋然タル理由ヲ開陳スルニ當テ我等カ上帝ノ存在其能力其性徳ヲ識得スルヨリシテ自然推測スル所ノ事實即チ上帝ノ天地萬象創造ノト奇跡ヲ以テ顯示セラレタル目途ト其目途ノ重要ナルト其目途ヲ以テ造化ノ計畫中ニ付加セラレタルト等ノ情實ヲ悉ク拋棄シテ顧ミサルヲ以テナリ故ニ氏ハ右ノ問題ヲ辨明スルニ際シテ奇跡ハ上帝ノ連綿タル動作ヲ既ニ確信スル所ノ人ニモ上帝ノ天地間ニ存在スルヲ信セサル人ニモ同ク信ス可ラサル者ト云ヒ奇跡ノ行ハレタルハ最モ適當ノ場合ニシテ最モ

有益ノ計畫ニ對スル者ト云フニモセヨ抑亦タ確乎タル目途  
 モ更ニナク若クハ全ク些細又ハ有害ノ目途ヲ以テセシ者ト  
 云フニモセヨ孰レモ皆ナ均シク信ス可ラサル者ナリト云ヘ  
 リ是レ而已ナラス氏ハ又奇跡ノ証憑ヲ論衡ノ他方ニ投シテ  
 其強弱輕重ヲ量ルニ當テ累々乎タル歴証ニ一々答フルニ我  
 等此証憑ノ歴史ハ如何シテ起リシ耶其所以ヲ説明スルヲ要  
 セスト云フヲ以テセリ抑吾カ考フル所ニ由レハ假令其如何  
 シテ起リシ耶其所以ヲ示スニ確乎タル理由ヲ以テセサルモ  
 責テ疑ハシカラサル推測ヲ以テ其如何シテ斯ク起ル可キ者

耶其所以ヲ示サルヲ得サル者トス此証憑ノ存在ハ一ノ顯  
 象ナリ其事實ノ眞ナルアリテ始メテ此顯象アリトセサル可  
 ラス若シ我等之ヲ措テ顧ミサレハ別ニ確據ス可キ理由ナカ  
 ラサル可ラス然リ而シテ今日人事ヲ齊ヘ人道ヲ正ス所ノ主  
 義ト兩立セサルカ如キ理由若クハ當時ノ人ヲ以テ今日ノ人  
 ヨリ見レハ別種類ノ生類ナリト云フカ如キ理由ハ我等ノ歎  
 手ニ於テモ必ス容レラレサル所ナリ。

吾レヲシテ休模<sup>ヒュー</sup>氏ノ斷言ニ於テ確乎タル論據ナキヲ悟ラ  
 シムル者ハ更ニ他ノ考察ニ由ラスシテ獨リ左ノ簡單ナル考



察ヲ以テ足レリトス玆ニ一ノ定論アリテ之ヲ一數學者ニ向テ發議センニ學者ノ先ツ第一ニ爲ス所ノ事ハ單純ナル一例ニ照シテ其眞僞ヲ試ルニ在リ若シ其之ニ由テ詐僞ノ成果ヲ現ハスアレハ學者必ス其言フ所ニ誤謬アルヲ知ル楮ヲ休模氏ノ定論ト稱スル所ノ者モ亦此方法ヲ以テ考試ス可シ今此ニ吾カ知ル所ノ者十二人アリテ素ヨリ其誠實ナルヲモ其明斷アルヲモ吾カ善ク知ル所ニシテ其信實特別ニ吾レニ語ルニ決シテ其欺カル、ヲナク面ノアタリ親ク目撃シタル靈爲ノ事跡ヲ以テスルト假想セヨ又國ノ太守ハ此風說ヲ聞キ此

人々ヲ己カ目前ニ召喚シ簡單ノ難題ヲ設ケテ其欺騙ニ出テタルヲ自首スルカ抑亦タ絞殺ノ苦楚ヲ蒙ムルカ孰レカ其一ヲ撰ヘト威迫センニ彼等異口同音ニ之ヲ詭譎欺騙ナリト公言スルヲ確ク拒否スルト假想セヨ又此人々ヲ各々輪番ニ同一ノ難題ヲ以テ威迫スレモ同ク更ニ屈セス終ニ之カ爲ニ死刑ニ處セラレタリト假想セヨ吾レ自カラ此人々カ各々其說ク所ノ眞理ヲ擲棄スルヨリモ寧ロ拷問ニ付セラレ燔殺若クハ絞殺ニ處セラル、ヲ尙ホ甘ンシテ死ニ就クヲ目撃シタリト假想センニ若シ吾レニ於テ休模氏ノ論理法ニ從ヘハ吾

レ彼等ヲ信セサル可キナリ蓋シ吾レ特ニ斷言シテ彼等ヲ信セサル程ノ疑惑者モ斯ル疑惑者ニ荷擔スル妄迷者モ更ニ天下ニ之レナシト云ハン耳。

茲ニ假造ノ奇跡ニシテ外見ヲ粧ヒタル偽証ヲ以テ堅ク維持セラレタル者アリテ其例一ニシテ足ラス是レ必ス考試セサルヲ得サル者トス休模氏ハ此種類ノ例ニ據テ已カ辯論ヲ固守セント試ミタリ吾レ適當ノ場合ニ於テ其ノ更ニ基督教証據ノ勢力情實ニ及フ者ナキヲ明示センコトヲ望ム然リ而シテ此例ニ據テ氏カ異論ノ勢力モ存レ其主義モ之ニ據テ存スル

カ故ニ吾レ其異論ハ無勢力無主義ノ言論ナリトセサルヲ得サル也。

○李沅曰奇跡ハ自由自在ノ上帝アルヲ拒否スルヲ以テ而已獨リ之ヲ不可能ナリト云フヲ得ヘシトハ是レ沛勒ノ論辯スル所ニシテ亦極メテ至當ノ事ト云フ可キ也此地位ニ立ツ者ハ唯獨リ不信神主義ナリト云フ可キナリ若シ我等自カラ睿智自由意志ヲ兼有スル上帝ヲ信スト云ハ、天然ノ法則ヲ制定セシ所ノ上帝ハ適當ノ場合ニ於テ至當ノ計畫ニ向テ一時此法則ヲ阻止シ得ルコトヲ許容セサルヲ得ス否ヲサレハ我等ハ人ニ對シテ容サ、ルヲ得サルコトヲ上帝ニ對シテ拒絕スル者ナリト云ハサル可ラス何トナレハ人ノ意力ハ幾分カ天然ノ法則ヲ阻止シ得ルコトハ經驗ニ由テ我等ノ知ル所ナレハナリ是レ石ノ掌ニ止マリテ重力ノ法則其爲ニ阻止セラル、カ如ク良心ノ威權生得ノ衝動ヲ制スルカ如ク人類ハ上帝ニ模造セラレタリト云フヲ以テ我等人類ニ於テ見ル所ト均シキ徳性ノ上帝ニ於テ其高低非常ニ異ナリト雖モ自然之レアリトセサルヲ得ス故ニ人類ニ於テハ其意力自由ナレモ實際アリ上帝ニ於テハ其意力自由ニシテ且際限ナシ而シテ人ノ自由意志ノ一時天然力ヲ阻止シテ其間ニ働クカ如ク全能力(言テ換テ云ハ、靈爲)モ天然ノ常道ヲ紊亂スルコト無ク其間ニ必ス挿入スルコトアル可キナリ沛勒ハ此中ニ靈性力ノ顯存スルコト十分ニ指示セサル者ノ如ク今其要ヲ略陳センコト抑奇跡ハ上帝啓示ノ始メテ此世ニ入ルコト當テ其自然離ル可ラサルノ附屬物ナリ何トナレハ啓示

ハ創造ノ業ニ均シキ者ニシテ凡テ創造力ハ維持力トハ自ラ區別アリテ靈性ノ性質ヲ有スル者ナルヲ以テナリ故ニ我地球ノ植物動物生命成ルアリテ人類ノ棲居ニ備具スル迄ノ階梯ハ一々各々己ニ存スル常道ニ乖戻シテ全能力ノ直接挿入ヲ顯ハセリ又子宮ノ胎胎ハ山生後必需ノ空氣食物等ノ協合作用無クシテ成形成育セリ是レ即チ生存ノ常法ニ乖戻シテ靈性ノ性質ヲ取ル者ナリ凡テ自然ノ事物新クニ創マリテ我等ノ目ニ顯ハル、場合ニ於テハ我等ノ心ニ奇跡即チ全能力ノ直接動作ノ感覺ヲ起サシムルナリ去ラハ若シ基督敎ニシテ我等ノ確証スルカ如ク異ノ啓示即チ人類ノ靈魂ニ係ル歴史ニ於テ一紀ノ發端ヲラシメハ其世ニ出現セシヲ表揚スル爲ニ其利達ノ後ニ於テハ必ス反覆セラレサル可キ所ノ奇事ヲ以テセラル可キハ例ニ照シテ我等ノ望マサルヲ得サル所タル可シ此事適々奇跡ハ自然ニ乖戻ズルト云ヘル異論ヲ買フ所ナレトモ若シ其啓示ト聯合セサル孤立靈爲ナリト見做サハ必ス然ラシ去レトモ若シ之ヲ以テ始メテ世ニ入ル所ノ宗教ニ伴フ者トナサハ其必ス然ラサル而已ナラス反チ自然ニ適合スル者ナリ若シ是ノ如シトセハ法則ノ性質ヲ有スル者ナリ譬ヘハ基督ノ降臨ニシテ又再ビアラシメハ奇跡ノ之ニ伴フヤ當然ノ事ナル可シ若シ基督敎ハ全ク自力ニ頼リテ全ク自果ヲ生スル所ノ特別性ヲラハ我等自然ノ例ニ照シテ靈性作用ノ之ニ聯合スルヲ望マサルヲ得ス是レ全ク天然ノ特別力(例ハ電氣力)ノ顯ハル、ヲ見ハ我等直チニ其因テ起ル所ノ作用アリテ其顯ハル、根源タルヲ知ルニ異ナラサルナリ然リ而シテ奇跡ハ皆ニ可能性タル而已ナラス反チ啓示ノ自然証憑ナリト云フテ至當ナリ主格ノ啓示ト同性ナリ上帝カ非常ノ法(例ハ神人合成ノ如キ)ヲ以テ隱然行フ所ノ顯然タル徵候ナリ人類ノ歴史ニ於テ一新紀ヲ

成ス夫ノ上帝降生ノ如キ事實ハ敎義トハ甚ダ均シカラサル者ニシテ獨リ同性ノ事實ヲ以テ適當ニ証明セラレ能フ者トス是ヲ以テ基督ノ事跡ハ靈性事跡ニ外ナラス又是チ以テ索西諾斯主義(基督ノ神性アルヲ容レザル主義)ト福音中ノ奇跡ヲ肯シセサル拒絕主義トハ必ス相結ンテ分ツ可ラス必ス各々偏立スルヲ得サルナリ情沛勒ノ看破スル所ノ休模ノ詭辯ハ其基ノ所半ハ匿証伴等ニ在リテ又其半ハ証言ノ種類性質如何ヲ問ハス悉ク之ヲ混同紊亂スルニ在リ其言ニ確固不變ノ經驗ハ天然ノ法則ヲ確定セリ勿論新約全書ノ奇跡即チ此法則ニ乖戻ズル事跡ヲ目撃セシヲナット暗ニ妄斷スル者ナリ又証言ヲ詐偽ナリトスルハ經驗ニ反對セスト云ヘリ我等之ニ反シテ或証言ヲ詐偽ナリトスルハ經驗ニ反對スルト確言セン例ヘハ沛勒ノ思考セル事實ニ於ケルカ如シ(第一編命題一第七章第一段)此事ニ於テ沛勒ノ考試スル所ノ點ハ新約全書記者ノ証言ヲ欺騙ナリ詐偽ナリトスルハ其証明セル奇跡ヲ真ナリトスルヨリモ尙ホ法外非常ノ事ナリト云フニ在リ抑非常ノ事實ハ之ヲ保維スル爲ニ自然普通ノ証跡ヨリモ更ニ堅固ナル証跡ヲ要スルヲ必ス知ラサル可ラス監督ハトラノ言ニシテザ一若クハ其他ノ人ノ事跡ヲ拒否スル者一人アレハ之ヲ預察スル者幾百万人アリト云ヘリ是レ爭フ可ラサルノ預察ナリト云フノ意ナリ何トナレハ斯ル事跡ニ供ハレル尋常ノ証言ニ由テ我等更ニ之ヲ疑ハサルヲ以テナリ然ルニ奇跡ハ人心ノ疑惑ヲ起シ竟ニ其拒否ヲ蒙ルニ至ルハ免ル可ラサル自然ノ情勢ナリ而シテ茲ニ必ス此事跡ノ性質ニ相當セル不蓋然ヲ來ス(彌兒氏論法第二章百六十六葉)ヲ以テ亦其不蓋然ニ相當セル堅固ノ証憑ヲ以テ之ヲ破ラサルヲ得ス

然リ而シテ斯ル証憑ノ性質如何ト問ハ、新約全書記者ノ立ッ  
 ル証憑ハ即チ全ク斯ル性質ナリト一言以テ之ニ答テ足レリ  
 ○此耳矩素曰沛勒ノ緒言ハ重ニ休模ノ其著書奇跡論ニ提出セル異論ノ排妄ニ係ル者トス其  
 他此異論ヲ駁スル者ハ學士カンパヘルアリソマービル氏アリペンローズ氏アリ學士ヤル  
 マース等アリシニ係ラス之ニ反シテ獨乙國理學者等此異論ニ賛成シテ之ヲ維持スルニ怠ラ  
 サリキ抑彼レ輩ハ此異論ノ推理ヲ以テ公平無謬ナリトスル者ノ如ク且其異論ノ結末ニ於テ  
 基督宗教ハ獨リ信仰ニ由テ奉セラル、者ナリ何トナレハ道理ヲ基トシテ証明セラレ能ハサ  
 ル者ナレハナリト云ヘル卑劣ノ語氣ニ心醉満足スル者ノ如シ沛勒ノ教語ハ公明正大ニシテ  
 且勢力アリト雖モ既ニ其異論ノ斯クモ世論ノ位地ヲ奪掠セシ上ハ尙ホ密ニ之ヲ分拆シ尙ホ  
 深ク其全体ニ進入スルヲ以テ緊要ナリト信スルナリ○此異論ノ眼目トスル所ハ都テ我等ノ  
 智識ハ經驗ヨリ得ル者ナリト云フニ在リ是ヲ以テ証言ヲ詐僞ナリトスルハ經驗ニ反對セス  
 ト雖モ奇跡ヲ眞ナリトスルハ經驗ニ反對セリ何トナレハ奇跡ノ天然法則ニ乖戾スル言ヲ待  
 スシテ明カナレハナリ然ルニ確固不變ノ經驗ハ此法則ヲ確定シタルカ故ニ苟モ經驗ニ由テ  
 立ル辯論ハ如何ナル辯論モ奇跡ヲ破ル完全証憑ヲ推測シ得ルハ争フ可ラサル自然ノ事實ナ  
 リト云ヘリ又休模ハ其異論ノ結末ニ於テ到底基督宗教ハ其傳播ノ始メニ於テ奇跡ニ伴ハレ  
 シ而已ナラス又現今ニ於テモ之レナカリセハ少シク道理ヲ辨スル者ハ更ニ信スルヲ能ハサ  
 ルナリ啻獨リ道理ヲ以テハ我等ヲシテ此教法ヲ眞理ナリト心服セシムルニ足ラス然リ而シ  
 テ凡テ信仰ニ動搖セラレテ之ヲ奉スル者ハ爲ニ其聰明智識ノ基礎ヲ全ク顛覆セラレテ習俗

經驗ニ最モ反對スル者ヲ信ス可キ決意ヲ與ヘラル、ヲ以テ恆ニ其身ニ於テ靈性奇跡ノ顯然  
 タルヲ自悟スルモノト斷言シテ夫レ可ナリト云ヘリ○此辯論ハ即チ証言ヲ詐僞トスルハ其  
 數々之レアルヲ以テ不蓋然ニハ非ス奇跡ヲ眞ナリトスルハ其確固不變ノ經驗ニ反對スルヲ  
 以テ不可能ナリト云ヘル二箇ノ前提ニ據テ立ル所ニシテ抑此前提ハ各々實ニ粗莽ヲ極メタ  
 ル詭辯ト謂フ可キ也○或証言ノ詐僞ナルヲ根拠トシテ凡百ノ証言皆ナ均シク欺騙ナリ不  
 確然ナリトスル所ノ推度ヲ保守セントスルハ決シテ爲レ得ヘカラサルノ事トス之ヲ爲サン  
 トスルハ兒童ノ無知ヨリ尙ホ一層蒙昧ノ位地ニ歸ラントスル者ナリ抑証言ノ異類ヲ辨別ス  
 ルニ其証者ノ品行ト其証明ノ方法ニ從テ之ヲ爲スハ駁々乎タル聰明智識ノ致ス所ノ試法ナ  
 リ然ルニ夫ノ異論ノ據テ以テ基礎トスル所ハ凡テ斯ル辨別ヲ拋棄シテ願ミサルニ在リ故ニ  
 學士ヤルマース曰凡テ証言ハ其種類ニ從テ各々其責ヲ受ク可キ者ナルニ反テ其種類如何  
 ナク問ハス凡テ証言ハ皆ナ詐僞ノ例ニ向テ其責ヲ受ク可キ者ト云フ是レ謬誤ノ說タルヲ免カ  
 レス請フ証言ヲ分類セヨ去ラハ此詭辯ハ容易ニ驅逐セラル可シ抑通常ノ世事ニ於テ一回ヒ  
 欺騙詐僞ノ行爲ヲ看破セラレタル人ヲ以テ常ニ欺騙詐僞ヲ事トスル者ト同一視スルモ尙ホ  
 奇怪ノ處爲トスル所ナリ況ヤ全ク潔白正直ノ人ヲ以テ之レト同一視スルニ於テヤ去レハ  
 分類表章ヲ付シ眞實保証ヲ添フル所ノ証言ニ負ハシムルニ別種ノ証言ニ屬スル不信用ノ責  
 ナリテスルハ亦タ奇怪ノ處爲ト云ハサルヲ得サルナリト○然ルニ此不信辯論ノ詭譎ハ既ニ  
 早く不世出ノ智者ノ一言ヲ以テ辯破セラレタリ其言ニ曰信實ノ証者ハ必ス謊ヲ去レテ詐  
 僞ノ証者ハ必ス謊言ヲ吐クト(箴言第十四章五節)斯ル德義上ノ區別ヲ攪亂シテ福音ニ於

ケル我等ノ信仰ヲ危クセント試ルハ抑獨リ邪惡ノ偏見而已ナラス又童蒙愚昧ノ惡業ナリ○  
 奇跡ハ確固不變ノ經驗ニ反對スルヲ以テ不可能ナリト云ヘル前提ハ尙ホ更ニ恠マサルヲ得  
 サルナリ之カ言ヲ換テ云ハ、上帝ハ人類ニ對シテ天然ノ法則ヲ更ニ阻止即チ靈性ノ徵候ヲ  
 以テ其意志ヲ啓示スルヲ能ハス何トナレハ確固タル經驗ノ其決シテ爲サレサリレコトヲ証明  
 スルカ故ナリト云フニ在リ是レ上帝ノ啓示ニ逆フ誇大粗暴ノ辯論ナリ其故何トナレハ其先  
 ツ啓示ヲ詐僞ナリト假定シ其假定ノ詐僞ニ由テ最モ荒唐ノ推度法ヲ作り此荒唐推度ヲ以テ  
 再ビ彼ノ詐僞ヲ証明スルノ推論ナレハナリ斯ル推論ニ顯ハル、德義上ノ暗昧ハ驚愕スルモ  
 尙ホ餘リアリ○奇跡ハ一般ノ經驗ニ反對スト云フハ其曾テ之レアリシコト無シ若クハ其アリ  
 能ハスト云ヘル匿証伴争ニ外ナラス去レニ其我等自己ノ經驗ニ反對スト云フハ單ニ其眞ナ  
 ラスト云フノ意ナリ抑奇跡ハ恰モサーモビリー及サラミスノ戰爭若クハシーサーノ死ノ如  
 ク過去ニ屬シテ今經驗ノ及ハサル者ナリ然ルニ其經驗ニ反對スト云フハ其我等自己ノ目前  
 ニ成リレト主張スレニ若シ我等之ヲ見サリシナラハ此場合ニ於テ而已然リトス情現在經驗  
 ニ先ツチ以テ奇跡ヲ不蓋然ナリトスル其不蓋然ノ廣狹大小ハ上帝ノ其意志ヲ人類ニ啓示ス  
 可キコト不蓋然ト獨リ同一一般ナリ又其屢々行ハル可キコト蓋然タリトスルハ獨リ上帝ノ其  
 意志ノ新啓示ヲ証明シ若クハ既ニ賜ハレル啓示ヲ確固ナラシメンカ爲ニ屢々天然ノ法則ヲ  
 阻止ス可キコト蓋然タリトスルヲ以テ而已コレ然リトス是ヲ以テ奇跡ノ更ニ我等自己ノ經  
 験内ニ在ラサリマ事實ヲ以テ他ノ場合ニ於テモ其必ス之レ有ラサリント云フカ如キ預察ヲ  
 得ルノ機會更ニ之レナキナリ夫ノ不信ノ徒(休模)ニシテ奇跡ヲ拒否セント欲セハ上帝カ

其不可思議ノ啓示ヲ人類ニ賜ハルニハ上帝必ス吾レ若クハ吾友ヲ撰ンテ其代理若クハ其証  
 者トス可シ其玆ニ出テサル所以ノ者ハ其更ニ之レナキヲ以テナリト云ヘル至當ノ理由アル  
 ニ非サルヨリハ己カ狹隘ノ經驗ニテハ決シテ奇跡ヲ拒否スル公平ノ推度ハ其得ル能ハサル  
 所ナリ○然リ而シテ確固不變ノ經驗ハ凡百ノ奇跡ヲ盡ク非証スト云フヲ以テ見レハ偏頗狹  
 隘ノ經驗ヨリ立ル推度ヲ以テ特別若クハ普通ノ經驗ヨリ至當ノ推度ノ之ヲ混同一視ス  
 ル者タルヤ明カナリ抑狹隘經驗ヨリ立ル是ノ如キ推度ヲ以テ如何ナル法則ヲ明知確定セラ  
 ル可キ乎我等今其如何ヲ探究ス可シ○抑經驗ハ實ニ事實ヲ觀察スルニ止マルヲ以テ事實ヨ  
 リ法則ヲ推定センニハ先ツ經驗ニ超越スル所ノ能力ノ使用必ス無ラサル可ラス夫レ凡ソ變  
 更ハ皆ナ原因アリテ初メテ起ラサルヲ得サルコトハ即チ道理ノ以テ然リトスル所ナリ而シ  
 テ凡テ下等即チ附屬原因ニハ必ス高等即チ萬物萬事ノ端緒原因ナカラサル可ラス例ヘハ玆  
 コ一事ノ成ルアリテ之ヲ推考想像シテ其以前ニ成レル事實若クハ變更ヲ之カ蓋然原因ナリ  
 トセンニ若シ果シテ然ラシニハ均シキ結果必ス常ニ之ニ從テ起ル者トセサル可ラス故ニ之  
 チ試ルニ於テ其之ニ違フ者ハ之ヲ措キ其中我等ノ觀察ノ及ハ限リ試ミテ違ハサル者アル  
 可シ此レ之ヲ天然ノ法則ト云フ是レ我等ノ幼少然タル智識ヲ以テ然リトスル所ナリ去レニ  
 現今我等ノ識見ハ他人ノ証言ニ由テ擴張スル所トナレリ抑此証言ノ通例ニ眞ナルコトハ經驗  
 之ヲ示シ而シテ其可信不可信ノ範圍ハ尙ホ一層闊キ經驗ヲ以テ道理之ヲ指示スル者ナリ是  
 ニ於テ乎我等ノ既ニ思慮考察スル所ハ斯ク我等ノ前ニ發露セル事實ノ排列ニ由テ其粗漏ヲ  
 顯ハシ夫ノ兒童ニ對シテ天然ノ法則ト見ユル者忽チ變シテ日用通常ノ理學ト成レリ然レニ

智識ノ需求彌々切ニ彌々懇ニシテ竟ニ又再發シテ學術トナルニ至リタリ蓋シ之ヲ要スルニ一般ノ經驗廣シナリヲ鄭重ノ試験ニ由テ嚴密ニ檢討スルヲ以テ既ニ完全無缺ノ法則トシシ所ノ者尙ホ精細單純微妙ノ物理法則トハ成レリ斯ノ如ク學術家ノ確定セル法則ハ其証言ニ由テ世人ノ信用ヲ得テ竟ニ其日常ノ觀察ヨリ蒐集セル証跡ニ由テ其信認自然彌々確固ナルニ至ル〇是故ニ法則及ヒ原由ノ通理ヲ確定セシニハ經驗ニ由テ喚起セラレト雖モ遙カニ之ニ超越セル能力即チ純粹ノ道理無ラサルヲ得ス何トナレハ道理ナキ經驗ハ紛亂シテ用ニ中ラサル感覺ノ影響ヲ顯ハスヲ得ルニ止マレハナリ故ニ一回ビ斯ル思想ノ定マルニ當テハ天然法則ノ存在ヲ証明シ其性質ヲ限定スルニハ必ス道理ト經驗相ヒ結合セサル可ラス然レモ智識ノ進歩スルニ從テ狹隘ノ觀察ニ由テ証明セラレタルカ如キ法則ハ尙ホ陸續其非証ナル所トナルカ故ニ不完全歸納法ヨリ推定セタル斯ル粗漏ノ結果ハ理學之ヲ正誤シ之ニ換ルニ鄭重試験ト確然証言ニ由テ供ハレル凡百事實ノ對照トコ據テ得タル法則ヲ以テセサル可ラス例ヘハ木類ハ水上ニ浮ミ金屬ハ水中ニ沈ミ烟ハ空中ニ騰ルモノナリト云ベル格言ト普通重力ノ發見トノ其相ヒ異ナル雲壤モ皆ナラサルナリ抑絕對孤立ノ完全結局ナリト道理ノ以テ公証スル所ノ法則ニ違ズルニ非サルヨリハ斯ル正誤法ノ限界ニ臨メリトハ云フ可ラズ然レモ凡テ物理法則ニハ是ノ如キ絕對孤立ノ結局ハ敢テ望ム可ラサル者ナリ凡テ其法則ハ假令完全ナルモ皆ニ對峙理証ヲ有スルニ止マリテ絕對理証ヲ有スルヲ得ス萬法ノ最タル者ハ至尊至大ノ制法者ノ意志言辭ナラサルヲ得ス之レニ劣レル法則ハ凡テ其欲スル所ニ從テ阻止若クハ廢棄セラレ可シトハ是レ亦テ道理ノ顯然公認スル所ナリ〇是故ニ普通經驗ニ

訴フ可キ事ヲ狹隘經驗ニ訴ルハ恰モ兒童ノ謬信ニ異ナラサル也實ニ夫ノ不信辯論ノ第二前提也都テ穩當眞正ノ理學ヲ滅却スル者也信用ス可キ証言ノ功用ニ基ク者ニシテ決シテ一個人ノ經驗而已ヲ以テハ望ム可ラサル學術上ノ發見ヲ盡ク破却セサルヲ得サルニ至ルハ抑其免ル可ラサル直接ノ結果也我等自己ノ狹隘觀察ヨリ天然法則ヲ擬造シテ他人ノ証言ハ其眞實堅固ノ徵候アルヲモ願ミス之ヲ拋棄シテ斯ル暗愚ノ斷定ニ固着シテ動カサルハ抑妄行ノ極マリナリト謂フ可キ也印度國王ガ曾テ水ノ凍凝ヲ目撃セサルヲ以テ之ヲ信セサリシ事實ハ休模ノ其奇跡論ニ引用スル所ナルニ反テ之ヲ以テ己カ妄行ノ遙カニ王ニ勝レルヲ説明表揚スル者ナリ斯ク通常ノ物質ニシテ其流動性ノ固性ニ變スルヲ目撃セサル印度王カ其之ニ變スルヲ不蓋然トナスハ愛アリ智アル上帝ノ時ニ由テ人類ニ超理ノ啓示ヲナスヲ不蓋然トスルヨリモ尙ホ其理アリトス又水ノ氷ニ變スル事實ヲ奏上シタル行旅ノ保証ハ基督ノ復活ヲ保スル數多ノ証憑ニ及ハサルヲ遠シ若シ夫レ印度王ノ不信用ヲ以テ愚ナリトセハ況ンヤ此事跡ヲ引用シテ自カラ己レテ罪スル懷疑者(休模)ノ不信用ニ於テヤ〇右ニ反シテ基督教奇跡ノ信仰ハ眞正理學ノ階梯ニシテ且其階梯ノ極點ト謂フ可キナリ夫レ經驗ハ其區域擴張スルニ從テ道理ニ供スルニ益々多分ノ材料ヲ以テシ之ニ由テ未定關係ヨリ眞正原因ニ達シ繁雜原因ヨリ單純原因ニ達シ附屬原因ヨリ絕對原因ニ達スル者トス兒童モ其自己ノ觀察ニ由テ水ハ常ニ火ヲ鎮消スル者タルヲ知ル凡ソ歴史ニ通スル者ハ希臘火ト名クルモノハ此法則ヲ制限シテ其區域外ニ立ツ者タルヲ知ル可シ之カ制限ヲ立ツルハ少シク穩當ナラサルニ似タレモ屈竟ノ証憑ニ基ク者トス化學者ハ尙ホ研究シテ燃理ヲ定メテ右法則外ノ

事實ヲ以テ尙更ニ高等ノ法則ト爲シ後又分解者ハ蓋シ化學者ノ法則ヲ以テ今マ人ノ認識ス可ラサル熱ノ本原ニ屬スル彌々高等ナル法則ニ混一ス可シ斯ノ如クシテ之ニ反シ之ニ戻ル所ノ眞理ヲ以テ却テ之ヲ調和スルニ至ル基督教徒ハ獨リ眞正理學ノ階梯ニ於テ最善最高ノ點ニ昇ル者ト謂フ可シ故ニ其三子ノ爐中ニ在ル事跡(但以理書第三章)若クハ耶穌ノ海上ヲ徒歩スル事實(馬太傳第十四章)ヲ讀ムニ當テ水火ノ性質共ニ尙ホ高等ノ法則即チ恒ニ萬物萬性ヲ掌握スル所ノ至尊至大ノ制法者ノ意志ニ從フ者タルヲ知ル也○於是乎奇跡ハ確固不變ノ經驗ニハ反對セシテ獨リ狹隘觀察ヨリズル粗漏詐僞ノ推度ニ反對スルニ止マリテ此推度ハ即チ眞正學術ノ道ヲ遮斷スル所ノ者タル無知蒙昧ノ速了ニ出テタル推度ニ異ナラズ奇跡ヲ證明スル所ノ証言若シ適當正直ノ証者ヨリ出テタラシムハ他ニ不適當不正直ナル証者ノ詐僞アリトモ之カ爲ニ其勢力ノ減殺セラル、ト更ニ之レナキ也我等法廷ニ於テ証者ノ僞証ヲ立ツルヲ聞キシカ故ニ基督ノ復活ヲ信用セスト云フ者ハ恰モ我等流星ノ墜ルヲ觀タルカ故ニ天文ノ發見ヲ盡ク拒否拋棄スルト云ヘル智者ト曰ク同シテ語ル可キ者ナリ以上論スル所ヲ以テ夫ノ異論ヲ維持スルニ箇ノ支柱(即チ二前提)ハ共ニ腐朽ニ屬シテ更ニ用ニ可ラサル者タルヤ明カナリ○學士カンブペルハ其著ハス所ノ奇跡論ニ於テ休模ノ辯論ニ答フルニ一種特異ノ法ヲ以テ証言ニ於ケル我等ノ信用ハ經驗ヨリ出ルニ非スシテ別種ノ主意ニ基ク者ナリト確言セリ其言ニ曰証言ニ於ケル我等ノ信用ハ經驗ニ基ク者ナリト云ハソヨリハ寧ロ之ニ於ケル我等ノ疑惑ハ經驗ノ結果ナリト云フコソ尙ホ善ク眞理ニ適合スルヲ以テ尙ホ道理ニ近キ者ト謂フ可シ無經驗ノ少年輩ハ輕信ナリ之ニ反シテ老練ノ徒ハ疑惑深シ故

ニ証言ニ於ケル我等ノ信用ヲ以テ經驗ニ基ク者ナリトスルノ主義ニシテ若シ公平ナラハ必ス右ノ事實ヲ顛倒セサルヲ得サルナリト其他監督ミルベインノ如キモ之レト同一ノ答辯ヲ試ミタリ然ルニ其答辯ノ功驗如何ヲ顧ミレハ學士チヤルマースノ觀察スルカ如ク眞實ノ辯論ヲ穩蔽攪亂スルニ止マル耳若シ証言ト經驗其証跡ノ種類ヲ相ヒ異ニセハ場合ノ如何ヲ問ハス焉ソ之ヲ對照シテ泰然穩當ノ果決ヲ得ルヲ得ンヤ我等老練ノ疑惑ヨリモ無經驗ノ輕信ヲ選ハント欲スル者ハ是レ豈ニ夫ノ不信ノ徒ヲシテ再ヒ口ヲ發シノ機會ヲ得セシムル者ニ非サルヲ得ンヤ○然リ而シテ右ノ答辯ハ全ク根據ナキノ言論ト謂フ可キ也蓋シ經驗ハ獨リ過失不義ノ証言ニ對シテ疑惑ヲ起サシムレト之レニ反スル証言ニ對シテハ却テ信用ヲ増サシムル者ニシテ是レ全ク天然ノ物理法ニ於ケル事實ト同一故ニ經驗ハ皮相結局ニ對シテ我等ノ信用ヲ弱クスレト精細學術上ノ發見ヨリズル法則ニ對シテハ反テ我等ノ信用ヲ加フル者也トス○証言ニ於ケル我等ノ信用ノ實ニ經驗(狹隘ノ見ヲ以テ)ニ基ク者タル所以ノ理ハ言語ノ性質ヲ考察スルヲ以テ必ズ證明セラル可シ何トナレハ証言ハ言辭ヲ以テ示サ、ルヲ得サレハナリ而シテ言辭ノ意味ヲ識得スルハ獨リ反復セル經驗ノ結果ナリ言辭ハ會テ數々其當然ノ意味ヲ以テ使用セラレサルヲ得サリキ或ハ言ヲ換テ云ハ、眞實ノ証言ヲ示ス爲ニ數々使用セラレシ也否ヲサレハ我等決シテ其意味ヲ識得スルヲ得サリシナラン故ニ兒童ヲシテ眞實ノ証言ヲ信用セシムルニハ別段ノ主意ヲ以テ之ヲ説明スルヲ要セズ何トナレハ言辭ノ知得ハ經驗ノ蒐集也數多ノ眞實証言ノ結果ナレハ也又經驗ノ擴張スルニ由テ起ル証言ノ不信用モ同ク狹隘ノ範圍ヲ脱セサルヤ明カ也抑言語ハ最モ惡シキ謊者ノ之ヲ詐僞

ノ事ニ於ケルヨリモ眞實ノ事ニ於テ尙ホ更ニ數々使用スルニ非サレハ必ス其眞意ヲ失フニ至ル可シ是ヲ以テ方正ノ証者ニ於ケル我等ノ信用ハ其人ノ實直高潔ノ經驗ニ由テ其根柢彌々深クナリテ動カス可ラサル至ル〇如是証言ノ經驗其証跡ノ種類ヲ相同クスルカ故ニ奇跡ニ係ル此論場ヲ以テ不蓋然性ノ相對立シテ其優劣ヲ爭フノ辯論ナリト沛勒ノ云フ所甚々穩當也異論ノ確言スル所ハ奇跡ヲ眞也トスルハ全ク不可能ナリ使徒ノ証言ヲ詐僞トズルハ完ク不蓋然ニハ非ストスルニ在リ是レ極メテ鹵莽虛喝ノ確言ナリト云ハサル可ラス抑奇跡ノ行ハレタルコトハ過去ニ屬シテ現ニ經驗ノ及ハサル所也甚シキ不蓋然ニハ非サル也而シテ証者種々アリテ其言フ所相齟齬セス且苦楚艱難ヲ以テ檢討セラレタル証言ヲ詐僞也欺騙也トスルハ德義上ニ於テ不可能ナリ今マ双方ニ存スル不蓋然性ノ多寡ヲ尙ホ精細ニ探究ス可シ〇証憑ヲ以テ証明セラル可キ所ノ奇跡ヲ不蓋然ナリトスルノ預察ハ抑何ソヤ蓋シ茲ニ甚々緊要ナル區別アリテ監督バトラ一學士ブライスノ共ニ感覺ニ觸レシ所ナレハ明瞭ニ説明スルコトナカリキ是レ即チ數學上ノ不蓋然ト歴史上ノ不蓋然ナリ而シテ其性質ノ相同シカラサルヤ極メテ甚ダシ甲ハ我等ノ無知無識ニ基ク者ニシテ一様ニ蓋然タル事物ニ付テ起ル者トス乙ハ特異ノ道理ヲ識得スルニ基ク者ニシテ爲コ事物ノ成リシコトヲ不蓋然タラシメ若クハ其証言ヲ疑ハシムル者ナリ〇茲ニ一號ヨリ一百萬號ニ至ルノ富籤アリテ三回之ヲ興行スル者ト假想セヨ其竟ニ如何ナル結果ニ至ルトモ其以前ニ在テハ其僥倖奇遇極メテ些少ニシテ一ト一百萬三乗トノ割合ナリ然ルニ箇様箇様ノ抽籤ナリト云フノ告知ヲ以テ我等之レニ満足シテ疑フ所ナカル可シ然レモ若シ我等ニ告グルニ三回共第一百萬號ノ抽籤ナリト云フテ

以テヒハ忽チ疑惑ヲ起シテ奇恠ノ事ナリト思フ可シ數學上ノ僥倖ニ於テハ此抽籤モ他ノ抽籤モ全ク同一ニシテ其間ニ差違アルコト無シ是ヲ以テ數學上ヨリ此疑惑ヲ解クノ由ナカル可シ蓋シ此疑惑ハ思想ノ常法ヲ知得スルコト由テ起ル者トス斯ル數ノ相ヒ合スルコトハ決シテ之レナカル可シト考ラハ通例一般ノ思想ナリ故ニ人若シ奇恠ノ事ヲ以テ信用ヲ得ント欲スレハ其詐僞ヲ行フニ際シテ他ノ數ヲ相ヒ合スルヨリモ多分右ノ數ヲ撰シテ之レヲ行フ可シ是レニ由テ之ヲ考フレハ其相ヒ合スルハ數學上ニ照セハ其僥倖少ナキ者ニ非スシテ皆ニ僥倖ノ危險ニ外ナラスシテ是レ即チ我等ノ信用ヲ阻礙シ我等ヲシテ無疑十全ノ証憑ヲ要セシムル所以ノ者ナリ〇最モ單純ナル事實ノ數學上ニ照シテ殆ト預メ思ヒ測ル可ラサル不蓋然ナル者ト雖モ其不蓋然ハ實據ス可キ告知アラハ其十全信用ヲ阻礙スル者ニ非ス例ヘハ茲ニ尋常ノ篤實者二人アリテ其我等ニ告グルニ一百万ノ籤數ノ中ヨリ一定ノ順序ニ於テ一千ノ抽籤アリト云フテ以テスルアラハ假令數學上ニ於テハ非常ノ不平均ナリト云ヘモ我等容易ニ之レヲ信用ス可シ之レニ由テ觀ルルキハ証憑ヲ以テ破ラサルヲ得サル所ノ不蓋然ハ歴史上ノ不蓋然ニシテ數學上ノ不蓋然ニ非サルナリ靈爲ノ事實ニ於ケルヤ亦是ノ如クナルヲ以テ上帝カ其啓示ヲ証明セシカ爲メ又ハ他ノ計畫ニ向テ天然ノ法則ヲ阻止ス可キコトニ付テ素ヨリ不蓋然ナキヲ得ス否ラサルモ己ニ保証セル奇跡ノ中ニ我等カ上帝ノ智徳ニ係テ思察スル所ト符合セサル廉アリテ亦タ其之レナキヲ得ス而シテ奇跡ノ中ニハ欺騙不義ノ徵候ヲ顯ハス者アリ如是者ニ至テハ其不蓋然極メテ大ナリト雖モ之レニ反シテ基督教ノ奇跡ハ斯ル徵候ナキヲ以テ其不蓋然極メテ小ナリト云フ可シ是ヲ以テ其不蓋然ハ獨リ過去ニ原因シ



テ更ニ其他ニ原因セサルヤ知ル可キナリ○然リ而シテ又基督復活ノ如キ事實ニ於テ多人數ノ目撃セシ所相符合スルニ由テ顯ハル、証憑ハ抑如何ナル勢力アル手茲ニ考察セサルヲ得サル者アリ即チ其証憑ハ五宦ノ蠱惑ニ出テタル耶將欺騙ニ出テタル耶ノ二者是レナリ諸テ其五宦ノ蠱惑ニ出テタリト云フハ無論不可能ノ事トセサルヲ得ス我等ノ五宦ハ單一ナル事實ニ千回遭遇スル中ニテ唯一回其我等ヲ欺ク可キヲ許容スルモ尙ホ過キタリトス若シ主耶穌ノ衆人ニ接見シタル度數ト其人員ト又其毎接見ノ時間トヲ相ヒ合シテ之レヲ計算スレハ其衆ノ五宦ニ由テ觀察シタル度數ハ必ス幾千回トナル可キ也而シテ之ヲ以テ觀ルキハ其五宦ニ欺カル、コトヲ可能トスル其分量ハ數字ヲ以テ作レル六千個ヲ顛倒シタル分量(○六)ニ過キサルナリ是レ其分量極メテ微ニシテ實際上ニ於テハ無ナリトス可キ者ナリ是ヲ以テ五宦ノ蠱惑ハ無論不可能ナリトスル所以ナリ○是ノ如クシテ推測セル蓋然性ノ抗爭ハ左ノ二問題ニ簡略セラル可シ(一)夫レ全能造物者ハ其意志ヲ人類ニ啓示ス可キ手抑又啓示セサル可キ手蓋然性ノ多ク歸スル所夫レ孰レニカアル(二)福音ヲ傳播スルコトニ一生ヲ委ネシ所ノ使徒等ハ眞實ニ主耶穌ノ復活ヲ信セシヨ由ル手抑又狡詐欺騙ノ邪黨ヲ團結セシヨ由ル手蓋然性ノ多ク歸スル所夫レ孰レニカアル此二問ノ應答ハ言ヲ待タズシテ自カラ顯然タリ而シテ茲ニ不蓋然性ノ抗爭更ニアルコト無シ何トナレハ蓋然性ノ其位地ヲ相均シクスルカ如ク不蓋然性モ其位地ヲ相同クスレハナリ之レヲ細説スレハ上帝ハ全人類ニ訓戒恩惠ノ音信ヲ賜フコト無ク反テ之ヲ罪惡無知ノ中ニ遺棄シテ更ニ顧ミサル可シト云フハ最モ不蓋然ナリ信仰ノ爲ニ侮辱嘲哂ヲ蒙リ耶穌ノ爲ニ一生ヲ委ヌル所ノ証者ヲ以テ反テ信ニ之ヲ邪惡

欺騙ノ徒黨トナシ凡テ罪ニハ必ス罰ノ臨ム可キコト公証スル所ノ人ヲ以テ反テ之ヲ詭術奸策ヲ逞クスル大惡者トナスハ最モ不蓋然ニシテ同ク又德義上ニ於テ不可能ナリ是ヲ以テ我主耶穌ノ復活ヲ拒否拋棄スル所ノ不信者(休模)ハ二重ノ罪業ヲ行フ者ト謂フ可シ何トナレハ彼レハ上帝カ生類ノ最高等ニ位スル所ノ者ヲ待遇スルニ慈愛恩惠ヲ以テスル父ノ如ク保護訓戒ヲ以テスル君主ノ如クナルヲ信認セズ反テ其更ニ之レヲ眷顧セサルコト妄信シ又自カラ無知ニシテ上帝ノ教訓ヲ要スルコトモ自カラ罪アリテ上帝聖子ノ罪祭ヲ要スルコトモ其ニ信認セズ反テ善且義ナル人々ニ負ハシムルニ極惡ノ大罪ヲ以テセントスレハナリ其基督教徒ニ負ハシメントスル所ノ罪科ハ全ク己カ行爲ニ適當スル者トス福音ノ光明ニ圍繞セラレナカラ猶ホ偏執シテ動カサル彼レノ不信ハ所謂其聰明智識ノ基本ヲ顛覆シテ上帝ニ對シテハ最モ不遜褻瀆ニ涉ルノ事ヲ信シ其同胞ノ最善最聖ノ人ニ對シテハ最モ譏毀誹謗ニ涉ルノ事ヲ信スル醜惡決意テ己レニ與フル所ノ靈性ヲ奇跡タル也○

第一編 基督教直接歴史ノ一弁ニ其自然他ノ奇跡ノ爲ニ引接シタル証據ト區別アルコト

命題一 基督教ノ奇跡ヲ元來目撃シタル者ノ多ク其説ノ所ヲ証センカ爲メ又偏ヘ

ルコト又其斯ル念慮ヨリシテ平生ノ行爲ヲ改メタルコトノ証據十分ナルコト

第一章 最初ノ基督教傳播者ノ苦楚ヲ蒙リタルコトノ確証自然ノ情勢ヨリシテ顯ハル、コト

(一)抑此命題ヲ維持証明センカ爲メ左ノ二要點ヲ設クルヲ以テ必要ノ事ナリトス即チ(第一)此命題ニ掲ケタル事實ハ教祖ト其直弟等ノ行爲ニ係ル者タルコト(第二)其直弟等ノ斯ル行爲ヲ顯ハシタルハ今マ我聖書ニ載スル奇跡ヲ証明センカ爲ニシテ又偏ヘニ

此耳短素曰此文ニ於テハ少シク其意ヲ廣ク取ラサル可ラサル者トス抑當初門弟等ノ感動風化セラレタルハ我主耶穌ノ身ニ於テ預

言ノ大成ト其品行ノ美ト其講話ノ智アルトテ措テ當ニ奇跡ノ信認而已ニ由ルト云フニハ非スシテ其奇跡就中其復活ヲ信認スルノ勢力ハ其他ノ信認ニ超越セリト云フニ過キサルナリ故ニ彼等ニシテ若シ其奇跡ノ信認ヲ斷チタラ

ンニハ其他ノ信認モ共ニ湮滅セシナル可シ 此事跡ヲ真ナリト信認スルニ因レルコト是レ也。

(二)右第一確言命題ノ主地ト成レル夫ノ敏捷活潑ノ行爲ト艱難辛苦ノ不幸ニ對スル格段ノ証憑ヲ提出スルノ前ニ於テ先ヅ其自然ノ情勢ヨリ得ル蓋然性ノ多少即チ實際諸人ノ認許セル情實ヨリ推測シテ自然此確言ニ供ハレル蓋然性ノ多寡ヲ考察スルヲ以テ極メテ至當ノ順序ナリトス。夫レ基督宗教ナル者世ニ存在ス故ニ或方畧ヲ以テ設定セヨ

レタル也。偕テ其設定即チ其當初宣布ノ原由ハ其教祖ト其布  
 教ノ計畫ニ於テ之レニ協力同心セル人々ノ敏捷活潑ノ行爲  
 ニ在リトスルニモセヨ。若クハ別種特異ノ假想ヲ以テ假令彼  
 等ニシテ傍觀坐視スルトモ他ニ之ヲ擔當維持スル者アリ假  
 令彼等ニシテ靜坐黙止スルトモ他ニ之レカ傳播利達ニ從事  
 奔走スル者アル可シトスルニモセヨ。孰レモ其設定ノ原由ト  
 スルニ足レリト云ハン乎。是レ全ク信ス可ラサルノ妄言タリ  
 若シ夫レ教祖ノ初メテ其宗教ヲ世ニ公証スルニ際シテ其直  
 弟等ノ熱心勉勵之レニ協力スルアラスンハ此計畫ハ早ク已

ニ畫餅トナリテ其跡ヲ斂メサル可ラサルニ至ルハ吾レニ於  
 テ確然タル者ノ如ク思ハル然リ而シテ之カ爲ニ施サレタル  
 熱心盡力ノ多寡及ヒ其如何ト斯ル人々ノ甘受セル生涯ノ身  
 ノ上如何ニ係テハ今日自ラ好ンテ新教派ノ宣教師トナル者  
 ニ於テ我等ノ見ル所ノ者ニ相似タリト假定シテ敢テ其當ヲ  
 失ハサル者トス其熱心勉勵シテ屢々道ヲ説キ以テ陸續他人  
 ナ改宗セシムルト其世俗ノ快樂ヲ屑トセス世間普通ノ職  
 務雜事ヲ脫離シテ一ノ重要ナル目途ニ專ラ執掌スルハ是レ  
 斯ル人々ノ別種特異ノ氣風習慣ヲ養成スルノ基本タルナリ

吾レ斯ル生涯ノ身ノ上ニハ快樂ナシトハ云ハスシテ反テ信實ヨリ生スル所ノ快樂アリト云ハン耳抑心中ニ虛妄詐偽ノ了簡アレハ身ノ勞苦檢束ハ決シテ堪ユ可ヲサル者ナリ吾レ斯ル計畫ニ從事スル者ニハ偽善者甚ダ稀ナリトス假令之レ有ルモ久シク堪ユル者少シ言ハ、人ノ怠惰偷安ノ如キ若クハ交際其他ニ於テ殆ント諸人ノ天性タル夫ヲ快樂愉快ヲ愛玩スルカ如キ若クハ一般ノ風俗タル夫ノ一身ノ安樂自由ノ慾望等ノ如キハ獨リ精神ノ壓倒ニアラスンハ能ク之レヲ制スル者アルヲ無シ。

又此新教法ヲ傳播スルニ際シテ困難危險ヲ免カレザリシコハ亦タ自然ノ情勢ヨリシテ蓋然タルヤ明カ也其猶太人ニ對スルヤ其平素ノ思想ニ反對スル而已ナラスシテ同ク其偏頗傲慢其希望安慰ノ基ク所ノ思想ニモ亦乖戾セリ抑猶太ノ人民ハ上下共ニ夫ノ久シキ約ニ係ル一使者降臨スルアリテ其國勢ヲ轉換シ大イニ其民ヲ利スルアラント信認セリ

シユートニアスノ言ニ此時天ノ命スル所ニ由テ一人猶太國ヨリ出テ、普ク天下ヲ掌握ス可シト云ヘル古代ノ定説廣ク東洋諸國ニ流傳セリト云ヘリ又タシタスノ言ニ其時東洋諸國勢ヒ熾ニシテ猶太國ヨリ出ツル者天下ノ權ヲ執ル可シト云ヘルヲ祭司ノ古書ニ載スル所ナリト信認スル者多カリシト云ヘリ 其之レヲ信認シタルハ抑其理由アル耶將否ヲサル耶蓋シ其起原ハ必ス國民ノ長タリ

祭司タル者ニ在リキ故ニ其遂ニ波及シテ一般人民ノ希望慾情ノ基ク所トナリテ全ク輿論公説ノ如ク疑念ヲ懷ク<sub>レ</sub>モ無ク又反對ノ説ヲモ更ニ容サ、ル迄ニ其根柢愈々深クナリテ其國家ノ災害ニ遭遇スルヤ人心皆ナ此希望ニ付着シテ其堪へ難キヲ忍ビ其危難災害加ハレハ從テ益々其付着力ヲ固クスルニ至レリ故ニ其初メテ斯ル十全満足ノ希望ハ豈ニ圖ラシヤ失望ヨリモ尙ホ遙カニ惡シカリシ<sub>レ</sub>ヲ知リ其希望ハ滿天下ヲ征服スルニ非ズ其國家制度ヲ萬國ノ上ニ置クニ非スシテ反テ其侮慢藐視シタル者ヲ之レト同等一樣テラシムル

所ノ温和謙遜ノ道ヲ宣布スルノ目途ニテアリシ<sub>レ</sub>ヲ知ルハ抑猶太人ノ心ニ於テハ甚ダ喜ハサル所ノ發見ニシテ又斯ル事實ヲ告知スル所ノ使者ニ於テモ其優待輕信セララル可キ<sub>レ</sub>ハ其敢テ望ミ得サル所ナリ況ヤ其傳フル所嚴肅新奇ノ道ナルニ於テヤ況ヤ摩西<sub>モ</sub>ノ律法ニ隨ハサル所ノ人ニ上帝ノ國ヲ擴張シ及ス<sub>レ</sub>ハ猶太人民ノ意表ニ出テシ所ナルニ於テヤ

ヤ 比耳矩素曰猶太人民ニ於テ是ノ如キ信認アリシト沛勒ノ云フ所眞ニ然リ抑其根原ヲ尋ヌルニ多ク祭司ノ言フ所ニ由ルニ非スシテ每安息日ヲ以テ諸會堂ニ於テ誦讀セシ所ノ預言ノ書ニ由ル者ト<sub>ス</sub>是レ其斯ル誤謬ヲ來シタルハ其他ノ預言ニ救主ハ其降臨ノ初メニ於テ猶太人民ニ放棄セラレ其民ニ約セラレタル幸福爲ニ永ク阻止セララル可シトアルヲ看過シタルノ致ス所タリ而シテ福音ノ初メテ異邦人ニ傳ハルニ當テ猶太人民ノ其遵奉ヲ阻礙セシテ以テ其誤謬尙ホ依然トシテ動カサリシ者ト云フ可シ蓋シ斯ル阻礙ノ所爲ハ恰モ既ニ己カ

信認シテ疑ハサリシ所ノ者全ク謬妄無根ノ事ナリシト初メテ悟リタルニ出ルノ所爲ニ相似  
タリ其福音ニ抗抵スルノ端緒早ク既ニ我主耶穌ノ拿撒勒ニ於テ爲セル説教ノ結果ニ於テ顯  
ハレタリ(路州傳第四章)然ルニ福音宣教ノ初メテ異邦ニ入リシ時ヲ以テ夫ノ抗抵  
忽チ變シテ激烈固執ノ怨恨トナレリ(使徒行傳第十三章四十五節至同五十一節)。

(三)之レ而已ナラス又此教法ノ性質モ同ク猶太人ノ風俗主意  
ニ背馳セリ抑猶太人ノ教法ハ甚タ技術ニ類似セシ者ニテ夫  
ノ卓見アル摩西ニ於テモ大イニ其律法ノ儀式ヲ尊重シテ其  
中ニ功德効驗ノ大イニ供ハル者ナリトセシ程ナレハ尋常一  
様ノ人ニ至テハ思ヒ其他ニ及ヒ難クシテ其上虚飾外見ヲ喜  
フ者ハ非常ニ之レヲ崇メテ己カ名望權勢ノ機械トセリ基督  
教徒ハ利未ノ法典ヲ廢棄スルノ正則ヲ取ラスシテ反テ變則

明治十五年八月廿六日出版御届

翻譯人

山口縣士族

貫 一元 介

東京築地區築地貳丁目  
二十二番地

出版人

平民

市川 學 三

東京淺草區淺草北三筋町  
壹番地

東京淺草森田町五番地

同望社假局

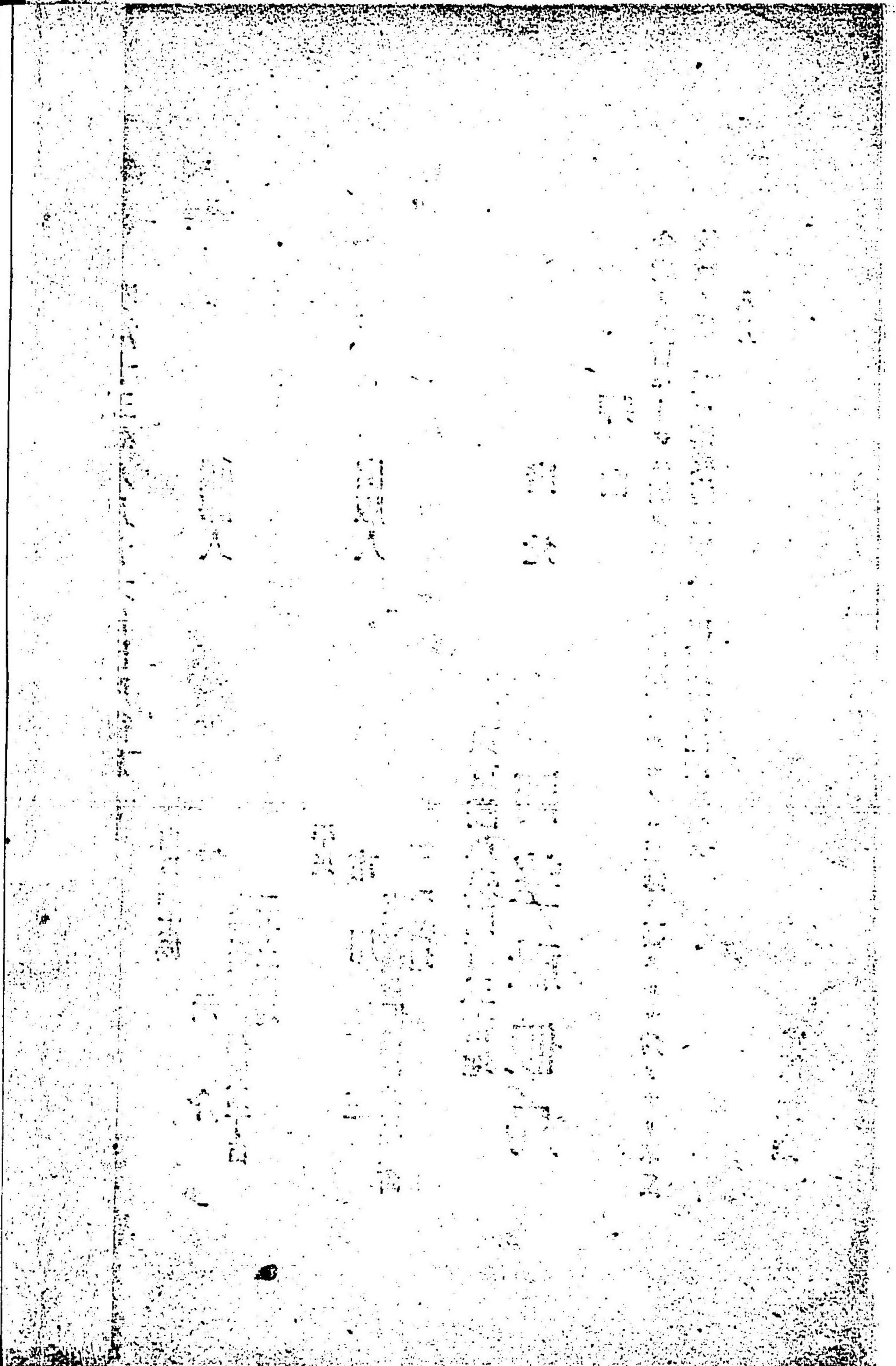
發兌

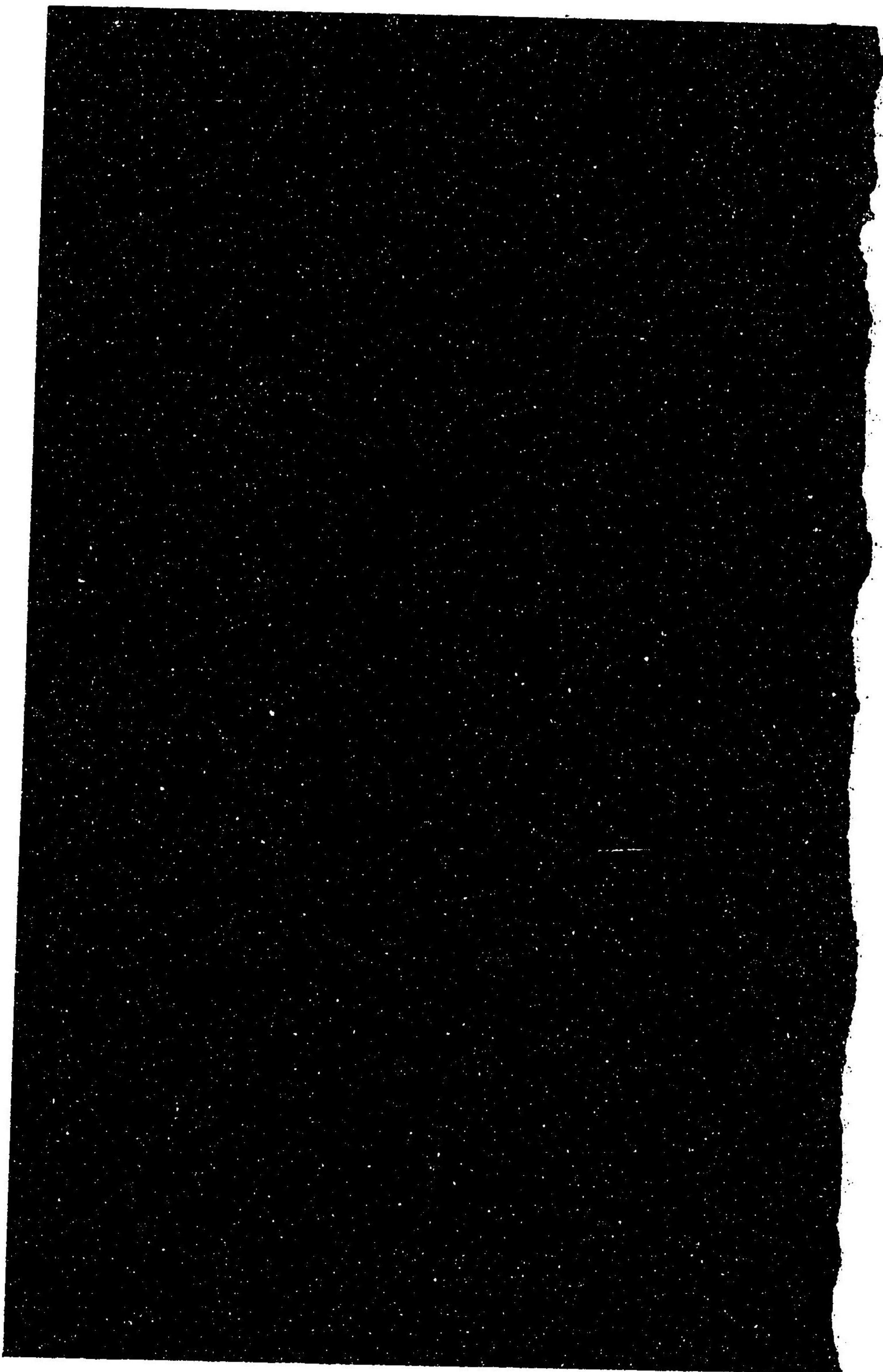
拜白

今般ノ分百ペーニ漏タスト雖出板スルモノハ至急ヲ要スルカ爲メナリ不足  
枚數ノ儀ハ追テ落成迄ニ割入ノ出版仕候此段廣告ス

八月

定價二十錢







[Redacted]

持50

952

基督教確證

国立国会図書館

020438-000-0

特50-952

基督教確証 第1

維廉・沛勒 (ウヰリアム・ペイレイ) /

M15

ABI-0248



